

# シアトル別院時報

32巻6月号

2013年度教化標語  
眞実明に帰命せよ



## 中道と非僧非俗

新井俊一師

釈尊の教えの要は「中道」と呼ばれています。これは通常は金持ち過ぎず、貧乏すぎず、中間の生活をする、という風に理解されていますが、それはおかしいと思います。大金持ちの家族に生まれた人は無茶をしない限りお金持ちでしょう。貧乏な家に生まれた人は、しばらくは貧乏でしょう。私たちは自分の生まれる家を選ぶことはできません。私の理解では、中道とは自分の持っているものへの執着を離れることを意味します。もちろん、自分に具わっている財産、地位、名声、美、健康などは現世で生きていく上には大切なものです。私の言おうとしているのは、現世で持っているものはすべてさまざまな縁によって仮に私たちのまわりに集まったものであり、絶対に私たちの所有物というものはないということです。このことをしっかり心に植え付けて、金持ちは窮乏している人に会えば援助を惜しまず、貧しい人は卑屈になる必要はない、ということが大切です。中道とは、僧とか在家とかの外の姿に関わらず、仏の教えに導かれながら、ともすれば自己中心的になりがちな自分を省みて、そこから自己を解放しようとする営みです。

親鸞は自分の生活様式を「非僧非俗」と言いました。20年もの出家生活の後、妻を娶って結婚生活に入りました。これは墮落でも何でもなくて、師の法然聖人の言葉、「現世をすぐべき様は、念仏の申されん様にすぐべし」に従ったまでです。「非僧」は僧としての権威と偽善を否定して、念仏を生活の中心に据えたことを意味します。「非俗」は、以前は仏法のすくいから除外されていて農民や町民のような一般人とともに生活しながら、彼らとともに浄土往生に向かって生活したことを意味します。



### 6月の予定

- 2日 10時 別院先亡者追悼法要
- 10時45分 日本語プログラム
- 9日 10時 ダーマ・スクール
- アワード・サービス
- ダーマ・スクール最終日
- 10時45分 日本語プログラム
- 11時45分 別院ピクニック
- 16日 10時 家族法要
- 10時45分 日本語プログラム
- 23日 10時 総長・輪番忌法要
- 10時45分 分日本語プログラム
- 24-28日 KSP
- 30日 10時 家族法要
- 10時45分 日本語プログラム
- 6日 1時半 日系マナー法要
- 20日 1時半 日系マナー法要
- 25日 10時半 敬老ホーム法要

中道も非僧非俗も、外の姿を超越して仏法を生活の中心に据えることを意味します。どちらも一生をかけて、たゆみなく、まっすぐに真実を追究する生活態度です。これを表すものとして、釈尊が臨終の直前に会いにやって来た行者スバツダ語った言葉を引用してみましょう。

スバツダよ、私は二十九歳の時に  
善を求めて出家した。  
スバツダよ、出家して以来  
五十余年の年月が経った。  
私は正理と法の領域だけを歩んできた。  
このほかに本当の沙門はいない。  
(中村元訳註『ブツダ最後の旅』より)

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士(ハワイ大学)、浄土真宗本願寺派教師。

### 2013 年盆踊り

7月21日 4時—10時  
7月22日 3時—8時



### 今秋の予定

10月5日・6日 梅津廣道総長の訪問  
10月19日 第二回 別院女性のセミナー  
テーマ「利他の心」

### 会員部より

別院維持会会員の年度会費は70才以上は\$250(\$500ご夫妻)、70才以下は\$300(\$600ご夫妻)です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。

### シアトル別院会費について

2013年度も半分が過ぎました。会費を納められた方々には感謝します。

税金免除になる年会費は別院にとって諸経費を賄い、仏教教育をよりよくしていく為にも必要です。ですが、会費とファンド・レイズのお手伝いだけではその諸経費をもカバーできません。別院会費はほかの2団体の会費も含まれます、BCA、北米地区です。300ドルのうち200ドル以下が(70歳以上の方は150ドル以下)が別院に残された額です。分割で払われても結構ですが9月30日までに最後の払い込みをして下さい。皆様のご理解とご支援のもとに別院が活動でき、将来があるのです。

### 別院ピクニックとお弁当

6月9日11時45分よりジムにてポットラック・ランチとピクニックが催されます。ポットラックの代わりにお弁当もオーダーできます。玄関の廊下にサインアップがあります。\$10.00.

### 別院日本語プログラム

松林輪番がリタイアされた2010年よりシアトル別院では日本語の先生がおられませんが、星野アランさんが日本語プログラムを毎週用意して下さっています。日本語の先生のセミナーにはかならず3本ほど将来のビデオを撮って下さる。毎週いろんな先生のお説教を拝聴出来るなんてなんと贅沢なことでしょう。日本語メンバーは大変感謝しています。

4月7日花まつりには上西ゲールさんのはからいでガーディナ寺の宮地信雄師の「アインシュタインの相対原理」というとてもありがたいご法話のビデオを見せて頂いた。英語法要の後9時45分くらいから始まります、みなさん是非ご参加下さい。

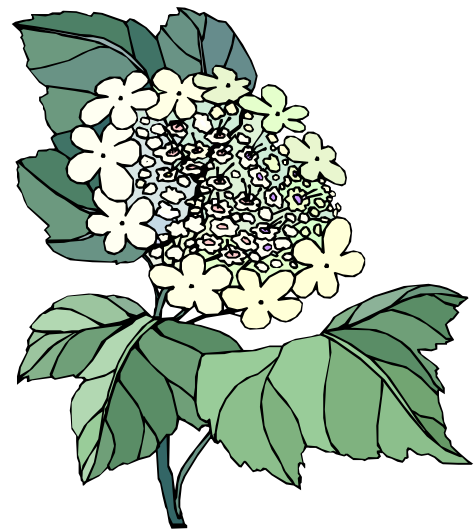
# 婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット

**新会員：**婦人会は去る5月5日(日)、下記の新会員10名を入会式とランチにて歓迎いたしました。秋山エデサ、浅場ローレン、市川一ハウランド・ローラ、村田クレア、西ワング・レアン、篠田スザン、高木みどり、寺本ゲール、吉川美代子、頭本ダーナ。婦人会によろこそ！

新会員の皆様には、今後の種々の別院、並びに社会への奉仕、大会、恒例の日帰り旅行、クラスやワークショップ等に参加されます事を念じます。この行事を担当された和田真知子と加藤ジョイス、並びに会員部長高島キヨ、賀久静、グローブス扶美、そして沢山の方々に感謝のお礼を申し上げます。



**前シアトル婦人会会長の喪失：**1991-92年に会長を勤められた木原パット八重子が4月19日に93歳で逝去されました。5月5日の追悼法要には沢山の遺族並びに友人方が会葬され、沢山の婦人会員方は法要のお手伝いを致しました。彼女のリーダーとしての婦人会への貢献は婦人会員にとって、忘れ難いものです。来る10月の追悼法要にて他の先亡者方と共に彼女を追悼顕彰致します。

**クラスとワークショップ：**西崎メーブルがカステラ作りのクラスを、そして田妻美代子によってシューマイとギョウザのクラスが夫々持たれました。為国マスの指導される別院ウクレレ・グループが別院コワイアーと共に、「イマージン」の歌を紹介し、続いてワーリック・ジム師がその歌と浄土真宗の関わりに付いて法話をなされました。

**オライオン・センター：**4月19日、地域の中国レストランに依って調製され、オライオン・センターに運送された夕食を、高島キヨが、八幡静江、新宅フラン、クアン・アン、クアン・デレック、と柴田デニスの援助で、40名以上のホームレス青少年達に接待をされました。クアン・アルデスいつもの支持に感謝します。

**台所清掃：**会員は4月19日のサーモン・デナーの後に、台所清掃をしました。パントリー・キャビネットの中のトング、スプーン、とウテンシル等を整頓する為に、新しくデバイダーが購入されました。この夏のお盆踊りの際には台所用品を見つけるのが容易な事と思います。

合掌

婦人会寄附

英語欄を参照して下さい。

## 6月行事予定

2日(日)

別院オール・サンガ追悼法要/婦人会理事会

24-28日

キッズ・サンマープログラム

通信書記(日)新保エツ提出

## ウォーク・フォー・ライス

今年もまたACRS主催のウォーク・フォー・ライスが催されます。6月29日(土)9時スタート。別院のチーム名はSBBWAです。オンラインでレジスターできます。また寄付もSBBWAの名前でされるように願っています。

レジスター、集合場所、カープールなど詳細は八幡しずえ(206-329-0800)まで連絡して下さい。皆で楽しく歩きましょう。多数の方の参加をお願いします。



ぎょうざクラス：メイ、ペギー、スー、ジュディス、  
指導みよこ アキ、フミ、シズ



オライオン・センター  
キヨとデニス



ウクレレグループ 「イマジン」

### 別院先亡者追悼法要

別院先亡者追悼法要は今年も6月2日10時より営まれます。この大切な法要は別院の先会員の貢献に敬意を表するものです。

今年は法要中にその方々の写真を本堂のスクリーンに映す予定です。ご家族の方々は写真と名前を [allsanghamemorial@seattlebetsuin.com](mailto:allsanghamemorial@seattlebetsuin.com) までお送り下さい。

ファイルサイズは100KBまでとします。ご自身の名前、電話、をメールに添えて下さい。

デジタル写真がない場合はカラーか白黒写真でも結構です。別院事務所までお持ちくださればスタッフがスキャンして返します。写真のない場合はお名前だけがスクリーンに映りますのでお名前だけをお知らせ下さい。

写真持込かメール郵送の締め切りは5月27日です。締め切り後に提出された写真は写せるか保障出来ませんので早い目にお知らせ下さい。

ご質問などは別院事務所にご連絡下さい。(206) 329-0800

### 血圧測定について

寺本マーガレットが皆さんの血圧を計りはじめて20年になります。毎月最後の日曜日にご奉仕しておられます。最初はチームがあり、彼女はその一員でしたがここ数年一人で続けておられます。このへんでこの大切な奉仕を誰か他の方に引き継いでもらってはいかがでしょうか。もし誰か出来る方がおられましたら事務所までお知らせください。

